

「わが図書館ならではの本!!」
大隅支部～錦江町図書室～

錦江町ゆかりの作家 川越宗一 ～直木賞受賞作品「熱源」～

錦江町には、「錦江町文化センター図書室」と「役場田代支所図書室（やまんなか図書室）」があります。毎年6月には、町内の小学校6校に出向き、出前読み聞かせを行っています。今年は、図書室司書が作成した『くるくるシアター「大隅線物語」』を読み聞かせしました。鹿屋市鉄道記念館など現地に出!!向き事実に基づきながら作成し、イラストも全て手描きにしました。家族愛と主人公が強たくたくましく成長する様子、そして現代と過去を行き来するファンタジーなお話の世界に、子供たちはじっと耳を傾けていました。



今回紹介する本は、錦江町生まれの川越宗一さんの第162回直木賞受賞作品の『熱源』です。『熱源』は、明治維新の直後から第2次世界大戦のアイヌ民族を主人公にした物語です。川越さんは、海音寺潮五郎記念文化講演会で、「『熱源』は視点人物の言葉を意識して書いた。地の言葉は自分が所属する文化の象徴。関西で育ったが、錦江町で聞く不思議な言葉のリズムが自分の体の中にも流れている」などと語っておられました。錦江町図書室には、『熱源』だけでなく、これまでの著書や新刊『海神の子』も揃えており、町民の方々に愛読されています。

